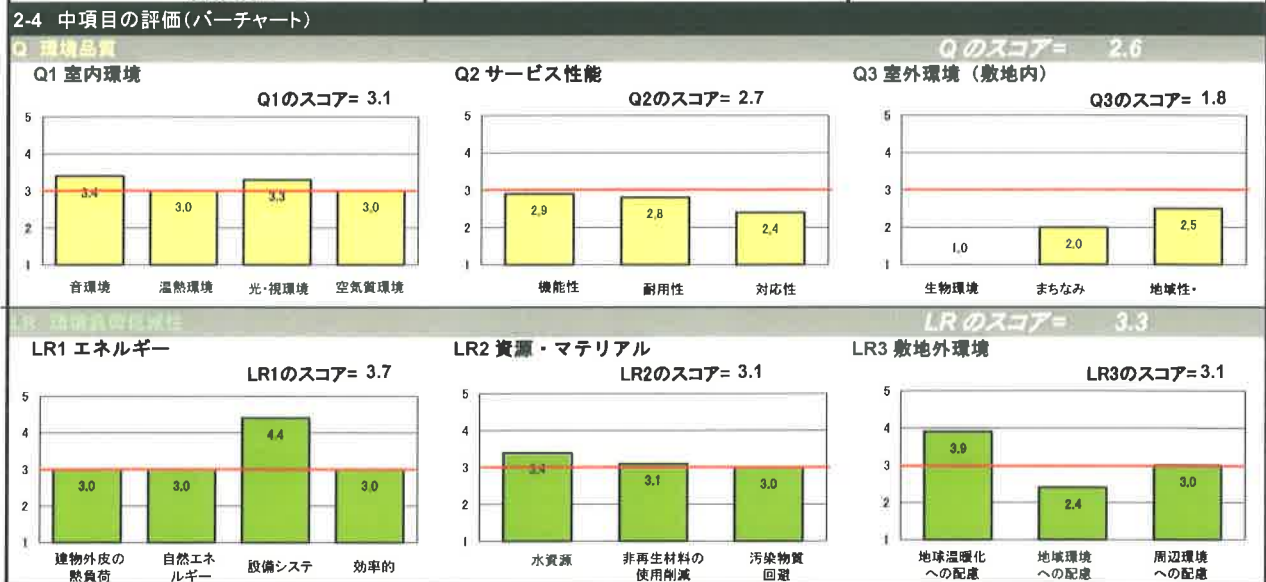
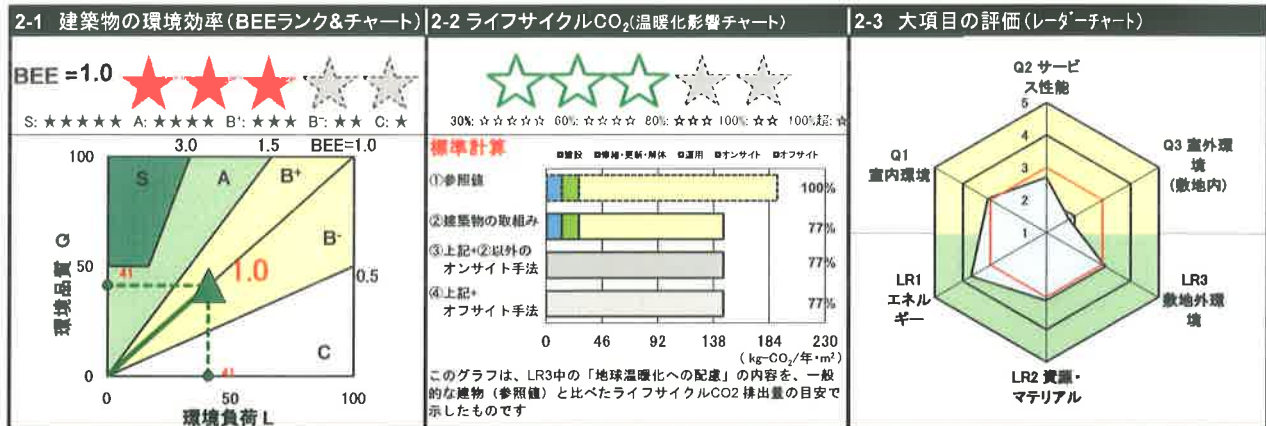


CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ABホテル鳥取新築工事	階数	地上10F
建設地	鳥取県鳥取市富安二丁目165番	構造	RC造
用途地域	商業地域、法22条区域	平均居住人員	145 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年12月 予定	評価の実施日	2019年11月17日
敷地面積	861 m ²	作成者	中谷めぐみ
建築面積	256 m ²	確認日	2019年11月17日
延床面積	2,420 m ²	確認者	中谷 勇



3 設計上の配慮事項		
外部騒音に対し客室には開口部遮音性能をT-2使用とし、室内騒音レベルを図っている。		その他 特になし。
Q1 室内環境 客室の開口部の遮音性能を重視。また各客室内で調整のできる冷暖房設備により快適な環境と無駄な空間をなくすようにした。	Q2 サービス性能 建物内共用部においてはできるだけ段差をなくし、福祉対応の客室を設けることによってどなたでも宿泊できる施設を目指した。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 特になし。	LR2 資源・マテリアル 断熱材や冷媒に関しては、ODP値の低い製品を使用する。	LR3 敷地外環境 特になし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される